

社会人の心構えを学ぶ

—3年 進路講話—

「笑顔や意欲が大事
自分で考え行動を」

秋田修英高で進路講話

大仙市の秋田修英高校でこのほど、3年生39人を対象とした進路講話が開かれ、地元のホテル経営者やラジオ司会者が社会人の心構えについて「笑顔や意欲が大事」「自分で考え行動することが大切」と話した。

大曲エンパイヤホテルを経営する金谷商事の金谷朋浩社長は「新人を採用する際は、人としての印象の良さが決め手となる。素直で笑顔を見せられる人が、入社してから伸びる」と話し、「面接ではその人の意欲が見られる。まずは身だしなみをきちんと整えたい」と求めた。

コミュニティラジオ局・FMはなびで司会や番組制作に取り組んでいる根田朋子さんは、過去にレコード店で働きながら演劇に取り組んだ経

秋田修英高の3年生が社会人の心構えを学んだ講話



歴を紹介。「チャレンジすることが自分の財産になる。言われるがままでなく、自分で考え行動することが成長につながる」と呼び掛けた。

講話は大曲ロータリークラブの主催。生徒の杉本凜人さんは「面接に臨む際、参考になる話だった。一人一人が希望の職種に就けるよう努力したい」と話した。

(佐藤辰)

7月3日付「秋田魁新報」より